



持続可能な地域づくりとは？

～海士町で見つけたオーナーシップ獲得の連鎖～

2025.01.16 株式会社風と土と 代表取締役 阿部裕志

本日の前提

海士町の挑戦を
「人材」の観点から
抜き出しました

取組詳細はweb等をご覧ください

「持続可能な地域」とは

なにを持続させたいですか？

「持続可能な地域づくり」とは

「持続可能な~~地域~~」づくり

持続可能な「~~地~~域づくり」

「地域づくり」とは



地域の

~~受益者~~

~~主体者~~

づくり

持続可能な「地域づくり」とは

地域の主体者が
世代を超えて現れ続ける

世代を超えた「地域の主体者」

① 地元リーダー(80,60代) “自らの島は自ら守る”



② 移住者(40代)

“社会モデルづくり”



③ 地元(40代)

“海士らしい海士を”



④ 地元若者(20代)

“もっと面白い島に”



平成14年6月 山内町長初当選

地元リーダー達の挑戦が始まる

海士町長 山内道雄



飯古建設社長 田仲寿夫
(隠岐潮風ファーム)



隠岐牛(建設業の異業種参入)

ふるさと海士特命
課長 奥田和司



CAS(水産流通改革)

総務課長
吉元操



島前高校の魅力化

地産地商課長
大江和彦



特産品創出拠点の整備

海士町は「課題先進地」

人口減少

7000人(1950年)→2300人(2015年)

超少子高齢化

200人→8人出生 高齢化率41%

超財政難

2010年財政再建団体予定(2005年時点)

島は社会の縮図

島に日本の未来を創るヒントがある！

やってきた「まちづくり」

仕事づくり 自立

地域資源を活かす

あるものを磨く



隠岐牛



特殊凍結技術



いわがき「春香」

and
more

ひとづくり 挑戦

島だから出来る教育

人の流れを変える



まちづくり 交流

ヨソモノを活かす

共につくり
共に変わる



地元と一緒に町づくりに
取り組んだ移住者たち

持続可能な地域づくりの「肝」

はじめてから主体者だったわけではない

オーナーシップ
獲得の連鎖

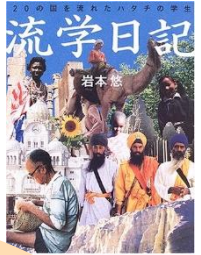
オーナーシップ獲得の「肝」

出番

出番の実例① 岩本悠氏（移住者）



- ・ 東京生まれ 『留学日記』 “教育で世界を変える”
- ・ ソニー人事で活躍中に、海士中学校で出前授業

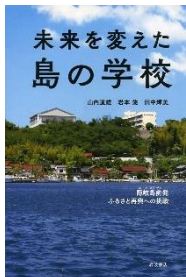


当時役場課長
（現顧問）



この島の高校が廃校寸前になっている。
自分たちだけではもうどうしようもない。
助けてほしい！！

- ・ 同様の地域は世界中にある モデルを作り世界に広げよう！
- ・ 退職、移住して高校魅力化プロジェクトを立ち上げ
- ・ 島留学で全国から生徒が集まる人気校
- ・ 現在は全国100校、ボタンに高校魅力化を広げている



危機感を持ち、挑戦してきた地域のリーダー達も 5年後には・・・ 第一線から誰もいなくなる・・・かも？

海士町長 山内道雄



78歳 → 82歳(引退?)

飯古建設社長 田仲寿夫
(隠岐潮風ファーム)



62歳 → 67歳(社長退任?)

ふるさと海士特命
課長 奥田和司



57歳 → 63歳(定年?)

総務課長
吉元操



56歳 → 62歳(定年?)

地産地商課長
大江和彦



56歳 → 62歳(定年?)

出番の実例②明日の海士をつくる会（あすあま）



- ・ 2015年海士町版まちひとしごと創生総合戦略
- ・ 次世代リーダー育成を目的とした戦略づくり
- ・ 20代～40代 自ら実践する人を一般公募
- ・ 民間12名 行政8名
- ・ Uターン10名 Iターン10名

**「2050年海士町はどうありたい」
意志ある未来に向け真剣に議論**

計13回(100時間以上)

出番の実例③ 阿部裕志（移住者）



1978年 愛媛県生まれ、愛知県育ち

2004年 京都大学工学研究科（材料工学）修士課程修了
トヨタ自動車入社、生産技術エンジニア

2006年 友人から聞いて海士町へ遊びにいき、ハマる

2008年 海士町に移住、「巡の環」を起業

2018年 「風と土と」へ社名変更して事業再編

その他、AMAホールディングス株式会社取締役、教育委員、隠岐国商工会理事を拝命



勝ち組



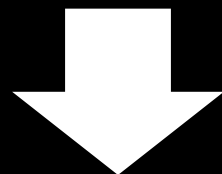
もっと速く
もっと安く
もっともっと
...

負け組



このグローバル競争の先に
誰が幸せになるの??

「タテの関係性」 競争の力



「ヨコの関係性」 共創の力

出番の実例③ 阿部裕志（移住者）



面白い島があるよ！



ソニー人事



トヨタ同期

今まで～ 高度成長社会



ファースト



大量生産
大量消費
規格品



早い
安い



経済発展
(GNP)



効率
便利



これから～ 持続可能な社会



スロー



安心
安全

少量
多品種
高付加価値



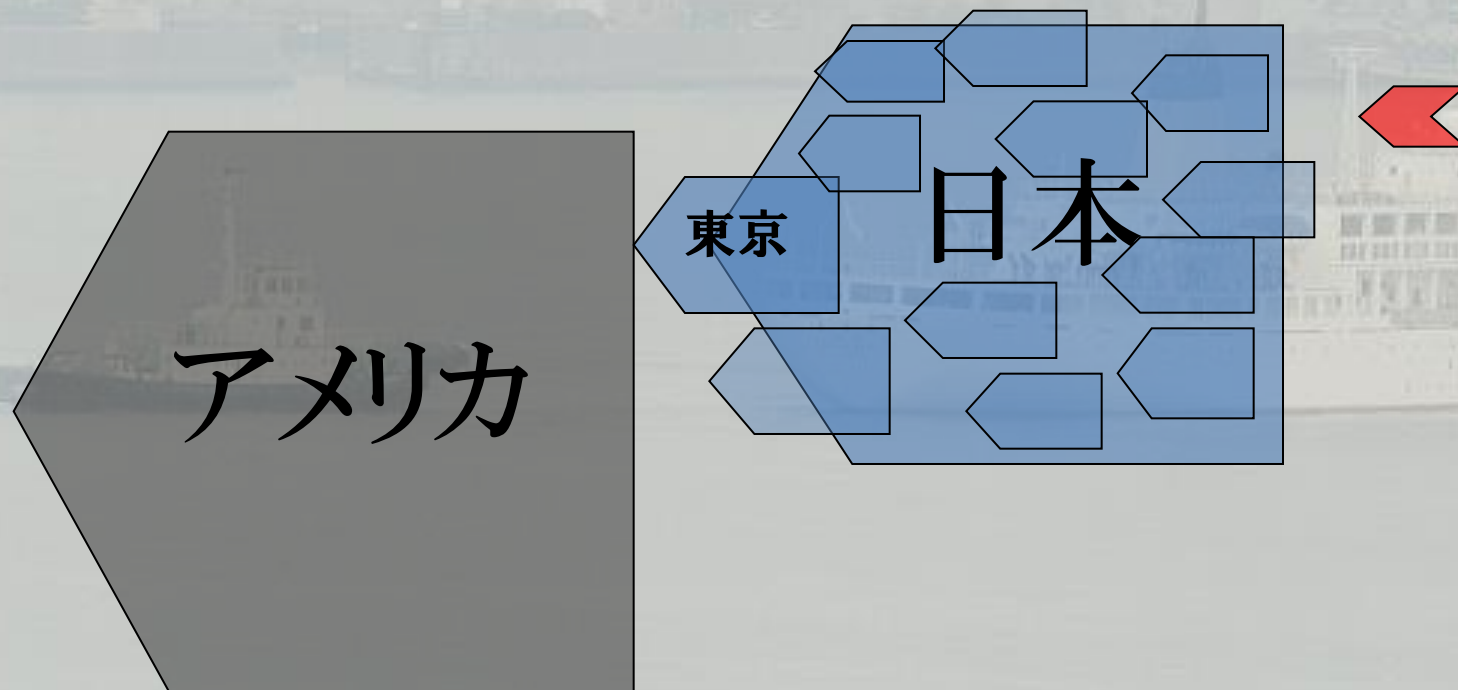
幸福度
(GNH)



健康
環境

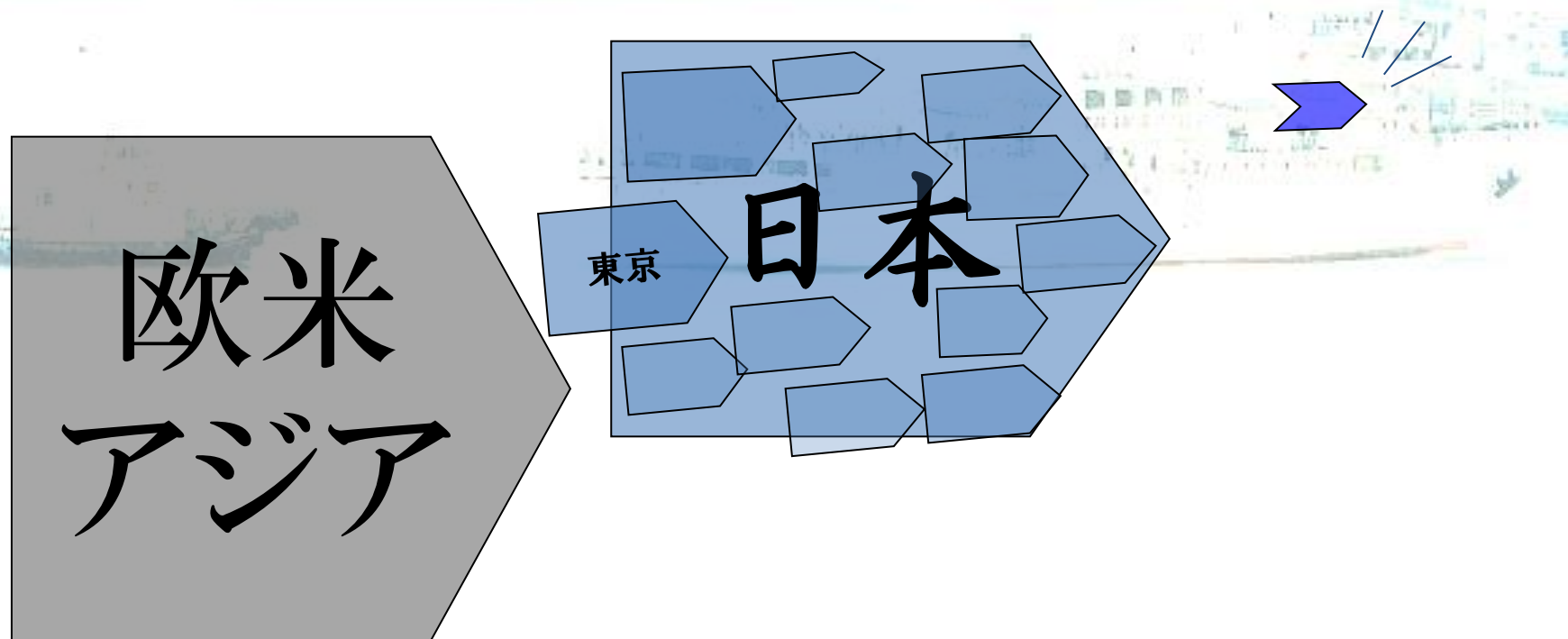


黒船以来 高度成長社会への 最後尾



最後尾から最先端へ

持続可能な社会への 曳船（タグボート）に



出番の実例③ 阿部裕志（移住者）

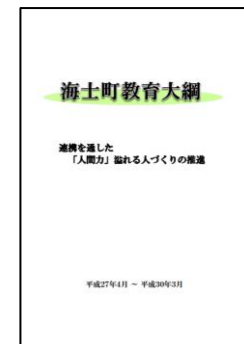


島に移住してからも出番の嵐

海士町を代表する機会

祭りの重要な役割

教育委員



大臣クラスと意見交換

4年いて1ターンとは
言わせないぞ

これからの教育には
よそ者の目線が必要

首相官邸にも



当時31歳
島根最年少

風と土と 会社紹介



共に風土をつくる

土の人⇨地元が

風の人⇨よそ者と、



オフィスは築120年以上の「村上家」（後鳥羽上皇をお世話したとされる豪族の家）



風と土と 会社紹介



hr development



人材育成事業

企業向け研修

publication



出版事業

出版社「海土の風」

community



地域づくり事業

島の課題解決



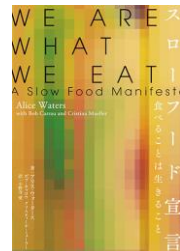
『進化思考』



『「わかりあえない」を越える』



『スローフード宣言』



『相談する力』



地方創生総合戦略づくり



医療ビジョンづくり、人材採用

16年間で 230回
140団体 2,300人

全冊1万部超

風と土と 会社紹介



風と土と 応援団

株主



柳澤 大輔

面白法人カヤックCEO
地域資本主義の提唱者



原田 英治

英治出版代表取締役
『学習する組織』『ティール組織』



太田 直樹

New Stories代表
元総務大臣補佐官



鶴 直人

連続起業家
BPO企業・不動産会社経営

監査役



水谷 智之

初代リクルートキャリア社長
地域・教育魅力化プラットフォーム会長

事業 アドバイザー



入山 章栄

早稲田大学ビジネススクール
『世界標準の経営理論』

人材育成



岩佐 文夫

VOOX編集長
元ハーバードビジネスレビュー編集長

出版

関係資本で経営する

次世代リーダー／経営者候補向け 研修プログラム

SHIMA- 心を動かすリーダーシップ NAGASHI

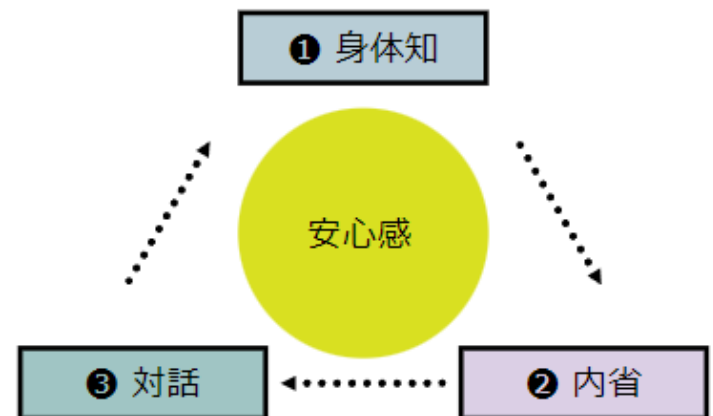
複数社混合 × 教えない研修 × 離島・海士町



早稲田大学ビジネススクール教授
入山 章栄さん監修

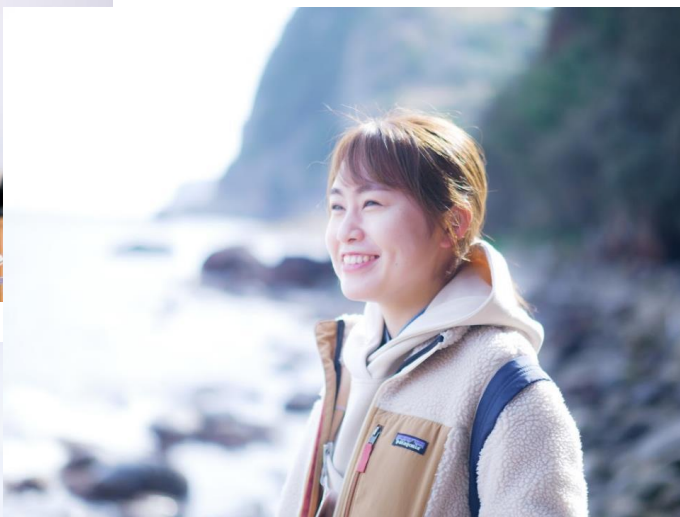


YeeY共同創業者／代表取締役
島田 由香さんプログラムディレクター



腹落ちした言葉でビジョンを語る

風と土と
KAZE TO TUCHI TO



【参考】参加企業実績



2023年度 43社102名

ウェザーニューズ／NTT東日本／NTTコミュニケーションズ
英治出版／カインズ／Google／KDDI／THECOACH
四国電力／人事院／JT／スターバックス／ソフトバンク
第一カッター工業／大和ハウス／中部電力／トヨタ自動車
トヨタ車体／トアス／トラスコ中山／日本IBM
パーソルテクノロジースタッフ／パーソルホールディングス
プログリッド／ベネッセアイキャリア／三菱商事／三菱重工
明光ネットワークジャパン／矢作建設／ロート製薬、など

腹落ちが共感を生む“リーダーシップ”



20年以上、海士町の人たちが
発揮してきたリーダーシップの姿

心を動かす
リーダーシップ

※2024年5月NHK「新プロジェクトX」で
海士町の取組が紹介されました

出番の効能

- ・出番は、主体性を引き出す
- ・出番は、居場所をつくる

出番づくりの「ミソ」

1. 出番づくりは、相談からはじまる
2. 共感しないと、相談に乗らない
3. **自分の言葉で地域のビジョンを語る**
から共感する

“自らの島は自ら守る”

“持続可能社会のタグボート”



出番づくりの連鎖

① 地元リーダー(80,60代)

“自らの島は自ら守る”

わらをもすがる
思い



② 移住者(40代)

“社会モデルづくり”

人生をかけて
挑戦



③ 地元(40代)

“海士らしい海士を”

俺たちの
出番だ



私の将来の夢は
いまの海士町の大人たち

④ 地元若者(20代)

“もっと面白い島に”





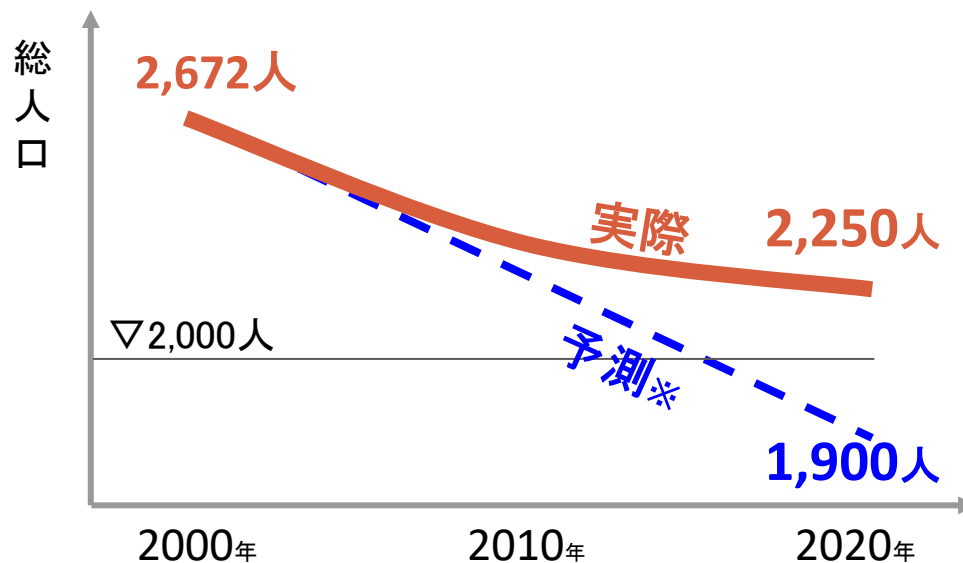
2000年の海士町

最も潰れそうな自治体



現在の海士町

地方創生の挑戦事例



※人口問題研究所が2000年に、国勢調査をもとに立てた予測

移住者

延べ800人
(現住400人)

20年間培ってきた
多様性文化

人材活性化の可能性



持続可能な「地域づくり」



地域の「主体者」づくり



「出番」づくり



自分の言葉で
「地域のビジョン」を語る

人材活性化の可能性



持続可能な「地域づくり」

↑
地域の「主体者」づくり

↑
「出番」づくり

↑
自分の言葉で
「地域のビジョン」を語る



持続可能な「会社づくり」

↑
会社の「主体者」づくり

↑
「出番」づくり

↑
自分の言葉で
「会社のビジョン」を語る

人材活性化の可能性



持続可能な「地域づくり」



地域の「主体者」づくり



持続可能な「会社づくり」



会社の「主体者」づくり

心を動かすリーダーシップ

「出番」づくり



「出番」づくり



SHIMA - NAGASHI

地域づくりの「起こり」「持続」「目標」

“起こり”

「個人の熱量」から、共感で仲間に広がる
危機感≠危機、 危機感←愛郷心←思い出

“持続”

肝は「出番づくり」
組織内外、地域内外

“目標”

地域の自立とは、「知の自立」

例) コロナ禍 「オープンな水際作戦」「海士町版ベーシックインカム」

二地域居住に思うこと



文化
安心

日本人らしい
価値観を育む



新たな知



文明
成長

新結合で
新たな価値を創る

大切にしている問い

何を守るために
何を変えるのか？